

平成29年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立楠見小学校

校長名 岡本 晶彦

作成日 平成29年6月6日

学校教育目標

正しい人権意識や、豊かな心を持ち、自ら考え実践するたくましい子どもを育てる。

家庭・地域との連携を深める

人に優しい子どもを育てる

基礎学力の定着を図る

開かれた学校

豊かな心

確かな学力

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の教育活動や児童の活動の様子をタイムリーに学校便り等で発信する。また、家庭や地域との連携の場を生かし、協力・協働の立場で児童の健全育成を目指す。 ○ 学校運営協議会を教育活動に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統として受け継がれている「下級生に優しい子、困っている子に優しい子の育成」を目指し、人権教育や生徒指導に取り組む。 ○ 児童の規範意識を高めるとともに、いじめや不登校、問題行動等の解決に向けて組織的、継続的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の分析や、単元ごとのテストや日頃の小テスト等で児童一人一人の実態を把握し授業に生かす。 ○ 学習プリント等、児童一人一人の実態に応じた手だてをチームで考えながら取り組み、くすみタイム、学びっこタイムの充実を図る。 ○ よくわかる授業づくりの実践をめざす。
目標達成に向けた具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校だより」「保健室だより」「給食だより」等を家庭や地域に配付したり、学校のホームページを更新したりするなど、連携の基となる情報発信を心がける。 ○ 学校運営委員の方と一緒に楠見の地域について話し合うなどミニ集会を行う。 ○ 学校運営委員を通して、婦人会や老人会の方を講師やゲストに招き、地域に残る文化財等、ふるさと楠見を学ぶ機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団登校、異学年のペア活動等、異年齢での活動の良さを生かした取組を積極的に取り入れる。 ○ 全職員が常にアンテナを高くし、アンケート等で子供達の様子を把握し、「楠見の子」「登校しにくい子」「見守りたい子」等の支援シートを作成し、全職員の共通理解のもと生徒指導や不登校児童への指導に役立てる。 ○ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの来校する機会を生かし、問題行動等の解決に向け、組織的に取り組む体制を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の学力実態を全職員で共通理解し、その後の取組や課題について全体で協議する場を持つ。 ○ 個別の教育支援計画を立てシートを作成する。また、そのシートを各教科の指導に活用する。 ○ 学習内容の定着と自学自習力の育成を図るため、児童の習熟度にあった学習プリントを準備したり、自主学習を広め、家庭学習の定着をはかる。 ○ 読解力や表現力の向上に繋げるため、図書館教育の充実を図る。 ○ きのくにフォローアップ事業を、現職教育等を生かし、研究授業やお互いに参観することで実践力を高める。